2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　3765　URL　https://www.gungho.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長CEO　(氏名)　坂井　一也
問合せ先責任者　(役職名)　執行役員CFO/IRO 経営企画本部長　(氏名)　高山　和正　(TEL) 03-6895-1650

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・アナリスト向け　)

(百万円未満切捨て)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	83,096	12.9	9,321	58.8	10,887	56.2	4,427	53.1
2025年12月期第３四半期	73,595	△3.8	5,868	△62.9	6,968	△59.6	2,892	△70.2

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　10,695百万円(134.9%)　2025年12月期第３四半期　4,552百万円(△63.4%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
2026年12月期第３四半期	83.59	82.67
2025年12月期第３四半期	52.92	52.33

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	174,931	150,842	67.5
2025年12月期	169,474	151,333	71.9

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　118,162百万円　2025年12月期　121,856百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2025年12月期	―	0.00	―	90.00	90.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				―	―

(注)１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
２．2026年12月期の配当額は未定であります

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	53,161,416株	2025年12月期	69,161,416株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	788,982株	2025年12月期	14,818,472株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	52,965,124株	2025年12月期３Ｑ	54,656,507株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料２ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。

・2026年11月13日（金）・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
四半期連結損益計算書 …… 4
四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（セグメント情報等） …… 6
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6
（重要な後発事象） …… 6

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当四半期における経済環境につきましては、世界的な物価高騰の長期化や緊迫化する国際情勢を背景に、為替相場や株式市場にも大幅な変動が見られ、先行き不透明な状況が継続しました。

ゲーム市場においては、国内モバイルゲームの市場規模は近年、概ね横ばいで推移しているものの、動画コンテンツの視聴をはじめとした可処分時間の奪い合いなど、スマートフォンユーザーの余暇の使い方は多様化が進んでいます。これに伴い、モバイルゲームにおけるユーザーリテインには、これまで以上に顧客動向を的確に捉える重要性が増しております。

このような状況の中、当社では引き続きグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力してまいりました。2026年９月にはNintendo Switch™２向けパーティゲーム「みんなでチャットパーティ」を発売し、更にSteam®向け共闘弾幕シューター「B.L.U.E. NOVA」を2027年内にリリースすることを発表いたしました。現在９本の新作パイプラインを開発しており、業務委託費を中心とした新規タイトルに係るコストが先行しております。

当社の主力タイトル「パズル＆ドラゴンズ」に関しましては、引き続き既存価値の最大化を図るため、MAU（Monthly Active User：月に１回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。新ダンジョンの追加を含む継続的なアップデートの実施に加え、季節ごとのオリジナルイベントや他社有名キャラクターとのコラボレーションなどの多様なイベント展開を継続し、売上高は堅調に推移しました。

また、国内のラグナロク関連タイトルに関しましては、「ラグナロクオンライン」をはじめとするサービス提供中のタイトルにおいて、イベントの開催や継続的なアップデートを実施したほか、新たに「ラグナロク：アドベンチャーズ」の日本国内におけるサービス提供決定を発表いたしました。

子会社Gravity Co.,Ltd.及びその連結子会社が運営しているRagnarok関連タイトルにつきましては、2026年７月16日に韓国において「Ragnarok M: Classic」、東南アジア地域において「Ragnarok: The New World」、2026年８月18日には東南アジア、ヨーロッパ及びオセアニア地域において「Ragnarok Zero: Global」の配信を開始するなど、新規タイトルのグローバルなサービス展開により、引き続き連結業績に寄与しました。

この結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は83,096百万円(前年同期比12.9%増)、営業利益9,321百万円(前年同期比58.8%増)、経常利益10,887百万円(前年同期比56.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,427百万円(前年同期比53.1%増)となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、174,931百万円(前連結会計年度末比5,457百万円増加)となりました。これは主に売掛金が増加したことによるものであります。

負債合計は、24,089百万円(前連結会計年度末比5,947百万円増加)となりました。これは主に買掛金及び未払法人税等が増加したことによるものであります。

純資産合計は、150,842百万円(前連結会計年度末比490百万円減少)となりました。これは主に剰余金の配当及び自己株式の取得に伴い株主資本が減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	130,474	127,993
売掛金及び契約資産	10,130	14,960
有価証券	5,775	6,835
その他	7,437	4,296
貸倒引当金	△67	△32
流動資産合計	153,750	154,053
固定資産		
有形固定資産	1,412	1,098
無形固定資産	568	494
投資その他の資産	13,743	19,284
固定資産合計	15,723	20,877
資産合計	169,474	174,931
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,817	9,812
未払法人税等	592	2,321
引当金	24	―
その他	8,934	10,482
流動負債合計	15,368	22,615
固定負債		
退職給付に係る負債	30	27
その他	2,742	1,445
固定負債合計	2,773	1,473
負債合計	18,141	24,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,338	5,338
資本剰余金	5,487	5,487
利益剰余金	152,249	105,198
自己株式	△43,908	△2,296
株主資本合計	119,167	113,727
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,689	4,434
その他の包括利益累計額合計	2,689	4,434
新株予約権	1,160	1,232
非支配株主持分	28,315	31,447
純資産合計	151,333	150,842
負債純資産合計	169,474	174,931

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	73,595	83,096
売上原価	39,721	47,818
売上総利益	33,874	35,278
販売費及び一般管理費	28,005	25,957
営業利益	5,868	9,321
営業外収益		
受取利息	1,331	1,595
その他	96	68
営業外収益合計	1,428	1,664
営業外費用		
支払利息	22	19
自己株式取得費用	2	5
為替差損	300	63
その他	3	9
営業外費用合計	328	98
経常利益	6,968	10,887
特別利益		
投資有価証券売却益	―	31
特別利益合計	―	31
特別損失		
減損損失	60	81
特別損失合計	60	81
税金等調整前四半期純利益	6,907	10,837
法人税、住民税及び事業税	2,694	3,918
法人税等調整額	△1,032	△849
法人税等合計	1,661	3,068
四半期純利益	5,246	7,768
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,353	3,341
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,892	4,427

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	5,246	7,768
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△693	2,927
その他の包括利益合計	△693	2,927
四半期包括利益	4,552	10,695
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,474	6,172
非支配株主に係る四半期包括利益	2,078	4,523

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の取得）

当社は、2026年２月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,981,500株を取得いたしました。当該自己株式の取得により、当第３四半期連結累計期間において自己株式が4,999百万円増加しております。

（自己株式の消却）

当社は、2026年２月13日開催の取締役会決議に基づき、2026年６月30日付で、自己株式16,000,000株を消却いたしました。当該自己株式の消却により、当第３四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ46,579百万円減少しております。

この結果、当第３四半期連結会計期間末において利益剰余金が105,198百万円、自己株式が2,296百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	743百万円	744百万円

（重要な後発事象）

該当事項はありません。